

平成27年度第1回ISO/TC46国内委員会
議事録

1. 日 時 : 平成27年7月6日(月) 10時00分～11時10分
2. 場 所 : 文京シビックセンター4階 会議室A
3. 出席者 : 委員長 菅野 育子 愛知淑徳大学
委員 宮澤 彰 国立情報学研究所名誉教授
永田 治樹 立教大学名誉教授
大塚 奈々絵 国立国会図書館
中島 康比古 国立公文書館
樋口 清一 日本書籍出版協会
原田 智子 鶴見大学
植村 八潮 電子出版政策・流通協議会
山本 宏義 日本図書館協会
SC9 委員 松田 稔広 国立国会図書館
オブザーバ仲谷 文雄 富士ゼロックス
経産省 千葉 孝義 経済産業省
三菱総研 岡田 光浩
協会会長 時実 象一 情報科学技術協会
事務局 光富 健一 情報科学技術協会

(敬称略・順不同)

4. 配布資料 :

- ・平成27年度ニーズ(安全・安心)・国際幹事等排出分野に係る国際標準化活動実施計画書
- ・前回委員会(2014/12/15)以降のISO/TC46投票済案件と審議案件
- ・Final meetings schedule and rooms location 42nd ISO/TC46 Plenary meeting in Beijing, CHINA 1st to 5th June 2015
- ・ISO/TC46/WG3 報告(宮澤彰)
- ・ISO/TC46/SC4 報告(宮澤彰)
- ・ISO/TC46/EPUBJWG 報告(宮澤彰)
- ・ISO/TC46/WG15 報告(宮澤彰)
- ・ISO/TC46/SC9 総会報告(菅野育子、松田稔広)
- ・2015年ISO/TC46/SC11北京総会報告(保坂裕興)
- ・ISO/TC46 総会報告(菅野育子)
- ・
- ・2015年ISO/TC46北京総会報告

5. 全会議事録の確認

前回議事録の確認があり、了承された。

6. 議 事 :

議事に先立ち、各自、自己紹介を行った。

1) 平成27年度実施計画及び国際提案のための体制作り

菅野委員長より、平成27年度社会ニーズ(安全・安心)・国際幹事等排出分野に係る国際標準化活動(テーマ名: デジタルアーカイブの利活用に関する国際標準化)について、実施計画書、委員会構成、規格要約表についての確認があり、また、以下の説明があった。

- ・本事業は3年間であり、以下の3点を目標とする。
 - デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化
 - デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子の標準化
 - デジタルアーカイブ国際標準化活動のための環境整備
- ・ については、現在調査の段階にある。

- ・ については国際図書館資料識別子 (ILII) として、国際規格化が順調に進んでいる。
- ・ については、各委員会を開催し、情報を収集している。

2) 前回委員会以降の ISO/TC46/各 SC 投票報告と審議案件について

事務局より以下の報告があった。

- ・ 平成 26 年 12 月 15 日から平成 27 年 7 月 6 日までの投票済み案件は合計 19 件で、その内訳は、TC46 3 件、SC4 3 件、SC9 10 件、SC11 3 件であり、投票漏れはなかった。
- ・ 平成 26 年 7 月 6 日現在の投票審議案件は、10 件であり、その内訳は、TC46 6 件、SC4 2 件、SC9 1 件、SC11 1 件である。

3) ISO/TC46 北京総会報告

各委員から ISO/TC46 北京総会の報告があった。主なポイントは次の通りである。

- (1) ISO/TC46/WG3 報告 (宮澤彰)
 - ・ TC46 直下の WG で翻字に関する WG である。
 - ・ 他国の翻字に関しては、日本は口を挟まないという態度をとっている。
- (2) ISO/TC46/EPUBJWG 報告 (宮澤彰)
 - ・ ISO/TC46/SC4, IEC/TC100, ISO-IEC/JTC1/SC34 のジョイントの EPUB に関する WG である。
 - ・ EPUB が ISO の TS になったため、今後の課題をこの WG で検討する。
 - ・ TC46 の提案は、EPUB 仕様にしたかった電子ブックが、national library に納本された時の、長期保存を行うための、EPUB に付与するメタデータの標準の作成。
 - ・ JTC1 からは、デジタル署名を EPUB に付与するときの標準についての提案があった。
- (3) ISO/TC46/WG15 報告 (宮澤彰)
 - ・ WG の名称は、Metadata and protocols for long term preservation である。
 - ・ ISO 化に当たって、OAIS とのリエゾンを結ぶ必要性が確認された。
- (4) ISO/TC46/SC4 報告 (宮澤彰)
 - ・ 上の WG の報告のほかに、リエゾンのダブリンコア、ISO/TC37/SC2 の報告があった。
- (5) ISO/TC46/SC9 総会報告 (菅野育子、松田稔広)
 - ・ 議長が韓国からイギリスに変更になった。
 - ・ ISO 中央事務局の TC46 担当者 MaryLou は北京に来ていたが、SC9 に出席できなかったため、ISO/CS 担当者は SC9 総会に必ず出席するよう要請した。
 - ・ WG11 の ISO 17316:2015 ISLI (International Standard Link Identifier) が完成した。
 - ・ WG10 (ISRC) プロジェクトを推進する。
 - ・ WG 12, Indexes and Indexing [possible merger and revision of ISO 999, Guidelines for the content, organization and presentation of indexes, and ISO5963, Methods for examining documents, determining their subjects, and selecting indexing terms の改定が始まった。
 - ・ ISMN 定期見直しで継続が認められなかったため、良い内容になっている ISBN を参考に、迅速に丁寧な見直しレポートを作成するよう指示があった。
 - ・ ISTC (ISO 21047:2009) は定期見直しで継続が認められたが、現状に即したものに改定するために NWIP を検討するよう要請があった。
 - ・ SC9 識別子 Adhoc Group のメンバーはその代表 (Norman Paskin 氏) に Linked Content Coalition Principles of Identification に関する資料に対するコメント提出を要請した。
 - ・ ISO Directives の変更によって国内 RA の位置づけが変わったことによって影響を受けている

RAのために、SC9はISO/CSと直接議論するAdhoc Groupを作ることを要請した。

- ・ SC9 は目録規則や目録作業を活動範囲に含めていくために、IFLA や CoP (Committee of Principals、米国・英国・カナダ・オーストラリアの国立図書館や図書館協会からなる合同委員会) に対してファーストトラックを提案するよう働きかける。
- ・ 来年のSC9総会でのデジタルアーカイブ関連の国際提案について、SC9議長、SC9事務局、参加国フィンランド(SC4議長国)と話すことができ、次回総会でプレゼンテーションを行うことに理解を得ることができた。これに関連して9月にヘルシンキにあるフィンランド国立図書館でSC4議長Juha Kahala氏とデジタルアーカイブの著作権管理記述についてSC4活動範囲のメタデータとの関連について打合せをまず行い、その結果をロンドンにあるISBN国際センターでSC9議長Stella Griffith氏に報告し、次回のSC9総会でのプレゼンテーションを準備し、同時に国内のWG1メンバーの選出をする予定である。

(6) 2015 年 ISO/TC46/SC11 北京総会報告 (保坂裕興)

保坂委員欠席のため、次回委員会で報告することになった。

(7) ISO/TC46 総会報告 (菅野育子)

- ・ ISO ダイレクティブの変更があった。
- ・ 国名コード決定の幹事 SCseum statistics、CD19580 International archives statistics の改定作業が行われている。
- ・ SC9 は各アイデンティファイヤーの紹介があった。
- ・ SC10 の総会は開催されなかったが、日本もこれに参加する必要がある。
- ・ SC11 は 110 名のエキスパートが活動している大きな SC である。
- ・ SC11 は、オープンデータのための信頼できるプロセスについて検討をしている。
- ・ 以下の 16 の決議があった。

決議1 ISO3166議長交代 (新議長はKate DOLAN氏)

決議2 ISO7098 (中国語のローマナイズ) の出版

ISO/DIS7098を出版する前にテクニカル修正をCIB投票へ回す

決議3 Feng教授の中国語ローマナイズ活動に感謝

決議4 ISO5127のエディトリアル変更後の印刷

技術的処理のために印刷期限の遅れが生じることをCIBへ説明する

決議5 ISO5127の今後の改定を開始するよう勧告

決議6 ISO5127を継続的に維持するよう勧告

用語のモニタリングやデータベースの更新などについて、次回総会で報告すること

決議7 ISO3166/MAへのPメンバー参加を求める

決議8 ISO3166 Part 1-3の改定

ISO/CSがISOオンラインブラウジングプラットフォームで使用可能なnormative code elementに関する変更にとまなう改定のドラフトを提出し、CIB投票に回すよう要請

決議9 ISO 8:1977 Documentation -- Presentation of periodicalsの改定のNWI提案

ANSI/NISOのPractice for the Presentation and Identification of E-Journals

(PIE-J)の提案

決議10 2015年12月に任期を終えるSC8事務局Hans-Jörg WIESNER氏への感謝

決議11 外部リエゾンをその過去2年間での活動に基づいて見直しをする

決議12 ISO/TC211(Geographical information/Geomatics)とのリエゾン

ISO3166の活動支援のためのリエゾン

決議13 TC46のStrategy Business Plan

2010年版を改定した2015年版を10月中旬までに1か月CIB投票するのでSCとWGに協力をもとめる

決議14 2016年（第43回）会議をニュージーランドのウェリントン（5月2-6日）で開催

決議15 2017年（第44回）会議を南アフリカで開催

決議16 SAC(中国標準化庁)とISTIC(中国科学技術情報研究所)へ感謝

- ・これからは、各SCの主査の先生方のお力をいただいて、デジタルアーカイブに関する国際提案を拡大していきたい。